

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)

【公開番号】特開 2002-235264 (P2002-235264A)
 【公開日】平成 14 年 8 月 23 日 (2002.8.23)
 【出願番号】特願 2001-31996 (P2001-31996)
 【国際特許分類第 7 版】

D 0 4 B 1/00

D 0 4 B 1/16

【F I】

D 0 4 B 1/00 B

D 0 4 B 1/16

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 9 月 14 日 (2004.9.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表面層と裏面層とを結接系でタックしてなる三層構造編地において、該結接系が中空糸で構成されていることを特徴とする軽量保温編地。

【請求項 2】

該結接系が総繊度が 20 ～ 170 デシテックス、単糸の繊度が 1 ～ 10 デシテックス、単糸の中空率が 10 ～ 55 % のポリエステルマルチフィラメント系である請求項 1 記載の軽量保温編地。

【請求項 3】

編地の厚さが 0.5 ～ 1.2 mm、目付けが 80 ～ 200 g / m² である請求項 1 又は請求項 2 に記載の軽量保温編地。

【請求項 4】

結接系で形成される中間層の目付けが 25 ～ 60 g / m² である請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の軽量保温編地。

【請求項 5】

保温性が 18 % 以上である請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の軽量保温編地。

【請求項 6】

表面層が主として総繊度 20 ～ 170 デシテックス、単糸繊度 0.1 ～ 20 デシテックスのポリエステルウーリー系で形成されている請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の軽量保温編地。

【請求項 7】

裏面層が主として天然繊維、合成繊維、再生繊維、半合成繊維の群より選択された少なくとも 1 種の繊維である請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の軽量保温編地。

【請求項 8】

編地が丸編である請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の軽量保温編地。

【請求項 9】

請求項 1 ～ 8 のいずれかに記載の軽量保温編地を用いてなる肌着衣料。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、本発明の軽量保温裏地は次の構成を有する。

1. 表面層と裏面層とを結接系でタックしてなる三層構造編地において、該結接系が中空系で構成されていることを特徴とする軽量保温編地。
2. 該結接系が総繊度が20～170デシテックス、単系の繊度が1～10デシテックス、単系の中空率が10～55%のポリエステルマルチフィラメント系である上記1記載の軽量保温編地。
3. 編地の厚さが0.5～1.2mm、目付けが80～200g/m²である上記1又は2に記載の軽量保温編地。
4. 結接系で形成される中間層の目付けが25～60g/m²である上記1～3のいずれかに記載の軽量保温編地。
5. 保温性が18%以上である上記1～4のいずれかに記載の軽量保温編地。
6. 表面層が主として総繊度20～170デシテックス、単系繊度0.1～20デシテックスのポリエステルウーリー系で形成されている上記1～5のいずれかに記載の軽量保温編地。
7. 裏面層が主として天然繊維、合成繊維、再生繊維、半合成繊維の群より選択された少なくとも1種の繊維である上記1～6のいずれかに記載の軽量保温編地。
8. 編地が丸編である上記1～7のいずれかに記載の軽量保温編地。
9. 上記1～8のいずれかに記載の軽量保温編地を用いてなる肌着衣料。